

人と自然、安心して暮らせる 共生文化都市を目指し、 『筑西市』がスタート

3月28日に誕生した筑西市。その初代市長となった富山県三市長に、これからのまちづくりに対する抱負を聞きました。

——市長就任おめでとうございませう。今の心境を聞かせてください。

「ありがとうございます。このたび、市民の皆様から負託をいただき、『筑西市』の市政をお預かりすることになりました。ご支援いただいた多くの皆様方に心からお礼を申し上げます。

筑西市の初代市長として、その任にあたりますことは、何よりも身に余る光栄であり、また、改めてその責任の重大さを痛感しています。合併により地域が拡大しましたが、可能な限り市内のすみずみまで気を配り、市民の皆様一人ひとりの気持ちを大切にしたいと市政運営を心がけていきたいと思っています。

これから、11万4千市民の皆様の信頼と期待に応えられるよう、一生懸命努力してまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます」

——筑西市長として、どのようなまちづくりを進めていこうとお考えですか。

「合併の目的は、地方自治体の財政基盤の強化を図り、住民の福祉や生活をより向上させるまちづくりを進めるということです。『新市建設計画』は、そのために定められたものです。これから、合併協議での懸案事項や約束事などを一つひとつ解決し、実現に向けて努力するとともに、『新市建設計画』に基づく筑西市のまちづくりの具体的なシミュレーションを考え、それを実行していきたいと思っています。

さらに私は、『環境と心と福祉を大切にしたい生活先進都市』の創造と、地域の特色を生かし、市民の皆様がこのまちに住んで良かったと感じ、誇りの持てるようなまちづくりを、ぜひ実現させたいと思っています。

——まず、市民の一体感を図ることが大切だということですね。

「そうですね。筑西市のまちづくりをスムーズに進めるためには、市民の一体感の醸成ということが、大切

そのためには、まず、筑西市としての一体感を、市民の皆様の日々の生活や気持ちの中に醸成していくことが、これからのまちづくりの大きなポイントになると考えています」

なファクターの一つになると思っています。それには、新市建設計画の推進とともに、市民の皆様が合併して良かったと実感でき、合併のメリットを生かせるような施策を進めることが必要だと思います。

筑西幹線道路や生活道路の整備を進めることや、環境、福祉、教育についても、サービスの統一化が必要です。また、市内の民間団体等が協働することや、地域で行われている



▲初登庁した富山市長（4月26日）



筑西市長 山 省 三 富

「教育や福祉は、市民の皆様にとつていきたいと思っています。誰もが安心して子育てができるまちになるということは、筑西市に住んでみたい、筑西市に住んで良かったと実感できるまちづくりの一つですから、いろいろな分野への波及効果も期待できるでしょう。」

「教育についても、子どもたちがのびのびと健康に生活できるよう、青少年の健全育成活動などを積極的に推進してまいります。また、筑西市が誇るべき文化・芸術を全国に発信し、全国からお客様が筑西市において、ますます

「教育や福祉は、市民の皆様にとつていきたいと思っています。誰もが安心して子育てができるまちになるということは、筑西市に住んでみたい、筑西市に住んで良かったと実感できるまちづくりの一つですから、いろいろな分野への波及効果も期待できるでしょう。」

「教育や福祉は、市民の皆様にとつていきたいと思っています。誰もが安心して子育てができるまちになるということは、筑西市に住んでみたい、筑西市に住んで良かったと実感できるまちづくりの一つですから、いろいろな分野への波及効果も期待できるでしょう。」

地域の誇るべき歴史や伝統を大切に、合併してよかった、住んでよかったと思えるまちづくりを進めていきます。

「教育や福祉は、市民の皆様にとつていきたいと思っています。誰もが安心して子育てができるまちになるということは、筑西市に住んでみたい、筑西市に住んで良かったと実感できるまちづくりの一つですから、いろいろな分野への波及効果も期待できるでしょう。」

「教育や福祉は、市民の皆様にとつていきたいと思っています。誰もが安心して子育てができるまちになるということは、筑西市に住んでみたい、筑西市に住んで良かったと実感できるまちづくりの一つですから、いろいろな分野への波及効果も期待できるでしょう。」

「教育や福祉は、市民の皆様にとつていきたいと思っています。誰もが安心して子育てができるまちになるということは、筑西市に住んでみたい、筑西市に住んで良かったと実感できるまちづくりの一つですから、いろいろな分野への波及効果も期待できるでしょう。」